

2023.2.10

支 部 通 信

No 83



長野県電気工事業工業組合長野支部
合同会社 長野電気引込工事センター

目 次

		ページ
1	Top Message 支 部 長 大田 敬壹	----- 1
2	トピックス 事務所開所式	----- 2
3	ご 挨拶 中部電力PG(株) 篠ノ井営業所 所長 原 国 博	----- 3
4	フ リ ー ト ー ク 副 支 部 長 伊東 敬晃	----- 4
	副 支 部 長 久保田貴律	----- 6
	中野・飯山地区 村石桂太郎	----- 7
	長野西地区 田村 英樹	----- 8
	中野・飯山地区 高津日出夫	----- 8
	須高地区 竹内 伸次	----- 10
	須高地区 山崎 哲男	----- 11
	長野東地区 月岡 匠	----- 12
5	特集:引込および内線工事 技能オリンピック大会	----- 14
	中部電力PG(株) 篠ノ井営業所 副長 畠山 拓也	----- 15
	更 埴 地 区 蟹澤 佳治	----- 18
	出 場 選 手 小山 正明	----- 19
	同 五十嵐和敏	----- 20
	同 丸山 慎一	----- 20
	店 主 よ り 吉 田 清	----- 21
	同 峯村 孝則	----- 22
	同 宮崎 弘章	----- 22
6	編 集 後 記 総 務 委 員	----- 23

(敬称略)

✿ 表紙写真 ✿

「 信濃町 富士里より望む冬の黒姫山 」

長野県上水内郡信濃町にある標高 2,053 m の成層火山。南東方向より見る整った姿から、信濃富士とも呼ばれている黒姫山は、妙高山・斑尾山・飯縄山・戸隠山と合わせて北信五岳の一つにも数えられています。

残雪の隙間から顔をのぞかせるフキノトウに始まり、コゴミやタラの芽、コシアブラ、ウドに根曲がり竹など、4月から6月にかけて次々と美味しい山菜が顔を出します。

写真撮影：藤澤 輝樹 様

「クリスマス寒波がやってきた」

～ それはサンタの贈り物 ～



支部長 大田 敬 壹

クリスマスイブの朝、北日本を襲っていたクリスマス寒波が、とうとう長野にもやってきた。寝る前には星空が広がっていたけれど、翌朝、目を覚ますと20cm程の雪が積もっていた。突然の白銀に「ホワイトクリスマス」の鈴の音が、遠くから聞こえてきそうな、そんな雪景色になっていた。いつも年の瀬はクリスマスとお正月をつれてくる。子供に限らず大人にも沢山の「夢」を積んでやってくる。それはきっとサンタの贈り物。けれど「夢」は留まることを知らず、いつも駅ホームの別れのように寂しさを残して、足早に去って行く。人は「今」という「時の船」に乗り、「夢」を友に、大河を下る。消えゆく「夢」は船底を叩く波の音、やがて水先の波に湧き立ち、泡となって消えていく。それでも人は船首の藍青に希望の「夢」を託す。改めて思う。人生は「夢」が流れるがごとく。

改めて新年のご挨拶を申し上げます。また、平素は長野県電気工事業工業組合長野支部並びに長野電気引込工事センターの活動・運営に暖かいご指導とご理解を賜り、心から御礼を申し上げます。また、会員の皆様からは、新增設等の引込工事の依頼、中部電力パワーグリッド様からは工事等のご発注を頂き、改めて感謝を申し上げます。

昨年を振り返ると近年の荒れた天候のように、世界も、国内も、業界も、そして個人的にも、嵐のような一年だった気がします。ロシアのウクライナの侵攻は世界に衝撃を与え、国内経済は持ち直し始めましたが、半導体、資源不足、物価の高騰、そして円安が追い打ちをかけ、家計にまでも影響を与えました。また電気引込工事センターでは、設立以来、初めての労働災害が発生し、年の瀬間近まで他の事故もあり、その対応に追われました。そのため昨年は出資者、会員の皆様には多くのご迷惑とご心配をお掛けしてしまったことに大変に申し訳なく思っております。

ただ、国内では明るい話題もあり、サッカーワールドカップでは、日本代表チームが予選リーグの1位通過と決勝リーグでは敗退したものの、ベスト8への挑戦があり「いい夢を見させてもらった」と思った方も多いと思います。そしてコロナ禍の中、善光寺の御開帳により街の賑わいが戻ってきました。さらに技能オリンピック長野県大会では、更埴地区の選手の皆さんを始め、その会社さん、地区役員の皆さん、そして中部電力パワーグリッド様の努力とご指導によって「準優勝」をもぎ取り、連合大会では3位という素晴らしい成績を残して頂き、大変に感謝を申し上げます。また恒例の電気使用安全月間では、各地区の役員さんのご配慮、ご苦勞により、また中部電力パワーグリッド様、中部電気保安協会様のご協力により、多くの報道局等に

取り上げて頂き、今年も大きな成果を収めることができましたことにも感謝を申し上げます。

さて昨年は事故の対応に追われた一年でしたが、今年は「無断工事」を始め、不慮の事故、災害はぜひ無くしましょう。工業組合の第三者損害賠償の事故も同様で、誤結線という単純な事故が多く発生しています。事故や災害はちょっとした不注意、気の緩みによるものが殆どです。

昨年の暮れ、成田空港の近くのホテルで泊まったが、その翌朝から突風が吹き荒れ、窓から見える木々からは沢山の葉が飛ばされていた。ホテルを出る時、丁度、そのロビーで外国へ向かう旅客機のパイロットや乗務員が、フライト前のミーティングをしていて、全員が話をするチーフの顔を真剣な眼差しで見つめていた。そして、その眼差しからは並々ならぬ緊迫感が漂っていた。多分、悪天候の中をお客様の「命」と「夢」を守るため、「危険なフライト」になることを聞かされていたのだろうと思った。その時、我々の仕事も同じで、「安全」とは、お客様や自分の家族の「夢」を守るために、常に緊迫感を持ち続け、それを全員で共有するところから始まるような気がした。

最後に格言に「トラは千里走って、卵跳ねる」というのがあるように、新しい年が皆様にとって明るい穏やかな年になることを願います。



一月二十六日、長野県電気工業業組合
および長野支部の新事務所において
県工組主催の開所式が執り行われました。



ご挨拶

中部電力パワーグリッド株式会社

篠ノ井営業所長 原 国博

新年明けましておめでとうございます。会員の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は、弊社事業運営に格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、5月には梯子からの転倒災害が発生するといった残念な出来事がありました。当事者の方はもとより役員の皆さま始め、関係する皆さまも辛い思いやご苦労が多かったと思います。安全には特効薬がないということも言われますが、役員の皆さま始め、店主の皆さまの「災害を起こさないという強い信念」をもとに、引続き安全へのご指導をよろしくお願い申し上げます。

一方、第36回引込および内線工事技能オリンピック連合会大会では、3位入賞という大変喜ばしい出来事もありました。出場した3選手の積み重ねた訓練の成果を本番で遺憾なく発揮した結果であると思います。また、選手を輩出してくださった店主の皆さまを始め、指導に携わった役員の皆さまのご尽力があってからこそこの成果であると思います。選手の皆さん、関係する皆さま本当にお疲れさまでした。

この成果は、今後の長野電気引込工事センターさまの安全・技術の継承と更なる向上へ寄与することに間違いはございません。引続きこのような取り組みが継続され安全と品質の更なる向上が図られることを願っております。

さて、話は変わりますが本年4月からは弊社にとって大きな環境の変化の年となります。新たな託送料金制度が導入され、経営効率化等に対する査定が厳しくなり、これまで以上に経営目標等に対する不断の努力が必要となります。また、社内においては、全社的な組織変更が予定されております。現行の6支社を19支社（現行長野支社は、長野・上田・松本・飯田の4支社）に再編するとともに、現行の支社・電力センター・営業所の機能を統合した新たな「支社」として生まれ変わります。

このように社内外の環境が大きく変わろうとしておりますが、弊社事業の根幹である電気を安全かつ安価で安定的にお届けすることに変わりはありません。これまでと変わらぬお付き合いをお願い申し上げますとともに、引続きご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、長野県電気工事業工業組合長野支部さま、長野電気引込工事センターさま、会員の皆さまの益々のご繁栄をご祈念申し上げますとともに、会員の皆さまを始め、ご家族の皆さま、従業員の皆さまが無事故・無災害で元気に過ごすことができますようご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



「繁栄」と 「飛躍」に向けて



副支部長 伊東 敬晃

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年の支部通信の新年号に『新型コロナウイルスのオミクロン株が猛威をふるい、支部新年会や製・販・工懇談会が中止になり、2年たってもあまり変化がなくヒトとヒトとの距離が遠くなってしまふ。』というようなことを書きましたが、未だ衰えず、とうとう3年たち4年目を迎えることになりました。とはいえ、昨年までとは異なりウイルスも生き残りをかけ、広く浅くいく作戦に切り替えたようで、周囲に感染者が（私もですが）散見されるようになりましたが、症状は軽くすむ方が多いように思います。したがって、経済を廻す方にシフトしつつあり、今年はコロナ禍以前のような活動に戻って

いくように思いますが、全く同じではなくニューノーマルなものになるように思います。

話題は変わりますが、10月28日に第10回長野西・東地区合同親睦ゴルフコンペが長野京急カントリークラブで開催されました。中部電力PG(株)長野営業所から宮澤所長はじめ5名、中部電気保安協会から井出所長はじめ2名、各メーカー、電材店、地区会員の皆様総勢34名が参加しました。三連覇を目指した中部電力PG(株)長野営業所宮澤所長は残念ながら優勝を逃し、第10回の記念大会を制したのは東芝ライテック(株)参事の佐藤悦生様でした。おめでとうございます。私は生憎都合が悪く出席できませんでしたが、表彰式は記念イベントもあり盛り上がった事と思います。今回、中部電力PG(株)長野営業所からは5名も参加してくださり、会員の皆様とをつなぐ貴重な親睦の機会だと思しますので、今後も引き続き親睦ゴルフコンペを開催しますので、皆様の参加をお待ちしております。



長野営業所 宮澤所長の始球式

引込センターについてですが、ご存じの通り昨年は事故が多発しました。2月に他センターで剪定脚立からの転落災害がおき、続いて5月に長野引込工事センター専門班によるはしごからの転落災害が起きました。7月26日と11月7日に集合教育を行い皆様に周知したところではございますが、11月30日に他センターで、はしごからの墜落災害が発生してしまいました。しつこいようですが、作業の前には安全を確認し、『大丈夫かな』と少しでも思えばそれは危険ですので、別の方法を考えて頂きたいと思います。仲間からは絶対にケガ人は出てほしくないです。災いは真に持ち去ってもらい、うさぎ年の今年は飛躍の年になればと思います。

結びに、本年も皆様のお役にたてるように努めて参りますので、引き続きご指導とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健康とご繁栄を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



少しでも幸せが増える年に

副支部長 久保田 貴律

新年あけましておめでとうございます。長野支部会員の皆様方におかれましては、新しい年を健やかに迎えの事とお喜び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、皆さんは新しい年をどのように迎えたでしょうか。私は、去年同様に締め切りが迫った、支部通信原稿に頭を悩ませており、結果正月の出来事になってしまいました。

2022年を振り返ってみると、2月の北京オリンピックから始まり、今年はいいい年になりそうな感じがありましたが、ロシアのウクライナ侵攻、円安による物価高と世界的な情勢の変化、そしてやはり新型コロナ感染に振り回される一年でありましたが、過去三年間とはちょっと違った年だったと思います。皆さんのなかにも久しぶりの忘年会を行ったという方も多かったのではないかと思います。

私は数年ぶりの行動制限のない正月を迎えるため海外に！！と夢をいだきながら、例年同様の正月を迎えました。今年の元旦は、久しぶりに天気がよかったので、気分もよく初詣に私の住んでいる松代町内の神社に歩いて出かけてきました。毎年初詣には来ていましたが、やはりここ数年では一番の人出だったと思います。また、行く道中で松代七福神マップを見つけ、歩いて5Kmほどで回れると書いてあったため七福神めぐりを行い、七福神全員にありったけの願いをしてみました。私自身も行ったことのない神社もあり、元旦にすでに得をした気分になりました。

ここで私が住む松代のアピールです。去年2022年は松代藩真田家初代真田信之が上田から、松代に入部400年にあたる年でした。真田家は廃藩まで10代に渡り松代を城下町として発展させてきました。このような歴史に触れられる箇所が多数あります。ぜひ松代へ！

支部通信の原稿寄稿依頼を受け、去年同様に後回しにしていた結果、去年同様の正月の出来事の報告になってしまいました。昨年はおみくじを引き大吉が出たと書いた覚えがあります。今年も引きました！ **末吉 煮詰まる前に一回休め！** っ て書いてありました。もう何も触れません(笑)

2023年の正月は外で暮らしている子供たちも帰ってきて、歩いて初詣・七福神めぐりにも付き合ってもらい、海外には行けなかったのですが楽しい正月を過ごしました。すでに去年よりいい年になっているように思います。

今年は、去年より少しでもいい事があり、少しでも儲かって、少しでも幸せが増える一年になればと思っております。長野支部の会員の皆様、今年一年よろしくお願いたします。



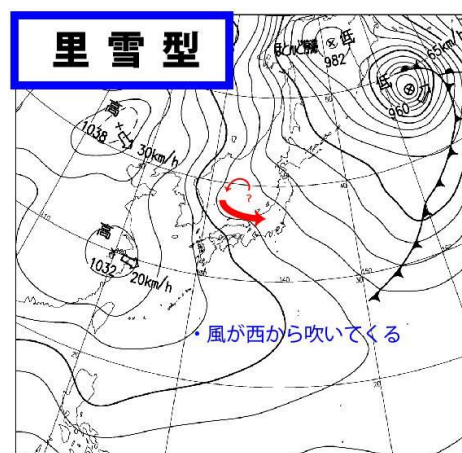
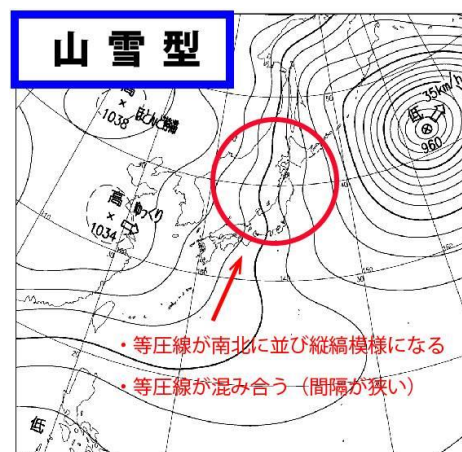
地区だより

中野・飯山地区 地区長 村石 桂太郎

新年あけましておめでとうございます。昨年の12月中旬頃、天気予報で「西高東低の気圧配置で大雪に警戒してください」との注意報が出されていましたが、天気図を見ると里雪型（等圧線が西から45度位）になっていて、飯山は降らないと思っていました。実際に新潟県の新潟市、長岡市、長野県では白馬方面で積雪が増えましたが、豪雪地飯山は全然雪が降らず、忙しい師走の仕事を無事終了することが出来ました。この年まで地元に住んでいると、天気図と寒気予報をネットで見て、降雪の量がだいたい解るようになってきました。

2023年の正月は、スキー場には雪があり、街には雪が無い（30cm前後）という状況で、昨年の正月は1mを超えて積雪があり雪かきに追われていたことを考えると大変助かっています。行動制限が解除された年末年始、近隣のスキー場は多くのスキー・スノーボードの観光客で何年振りかで賑わっています。落ち込んだ地元経済が少しでも活性化することを願っています。

さて、中野・飯山地区の活動ですが、8月下旬に行った「高野辰之記念館」の電気設備の点検と清掃活動以来、コロナ禍を理由にして疎かにしてしまっています。昨年の秋は、仕事の忙しさに加え、商工会議所、法人会、高校同窓会、地元の区の役と個人的に市長選挙に関わって、何もかも中途半端な状態で活動してしまっている状況です。3月の年度末までには、工業組合とセンターの事業をしっかりと終わらせていかないと反省しています。



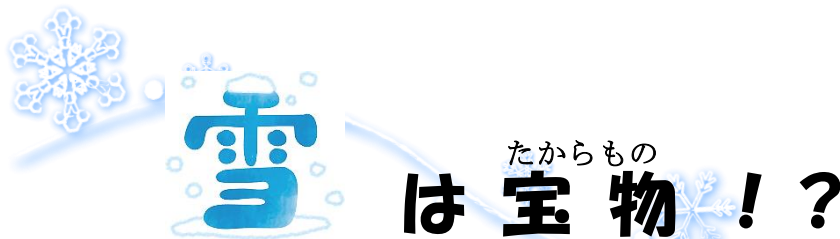
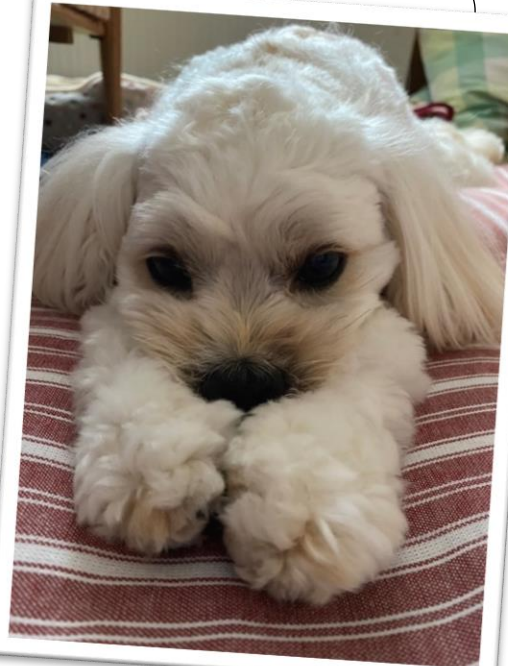
我が家の癒し

長野西地区 田村 英樹
(電通システム株式会社)

20代～30代前半の頃には、キャンプ、釣り、ゴルフにといろいろとやっていたのですが、気付くといつも間にか仕事・仕事・仕事・・・の生活になっており、7年前に娘が大学進学で県外にその後県外の会社に就職。3年前に息子が大学進学で県外にと、寂しくなる我が家に3年半前、子犬が仲間入りしました。

最初の頃は、いろいろと大変なことだらけでしたが、1年程過ぎるとトイレも決まった場所のできるようになり、眠くなると自分の寢床に行くようになりました。仕事が終わって夜、家に帰ると車の音で私が帰ってきたことに気付き、玄関でいつも待っていてくれます。

年に数回は、犬と泊まれる宿に旅行にでかけています。今では、一番の癒しになっている我が家のかわいい家族です。



中野・飯山地区 高津 日出夫 (高津電気工事株式会社)

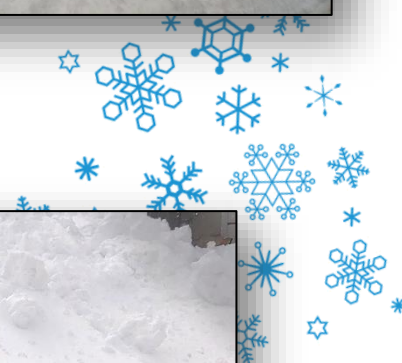
令和3年度の豪雪は酷かった。来る日も来る日も除雪に明け暮れ身体も財布も悲鳴を上げていました。母屋の雪下ろしは業者に依頼して1回11万円。車庫の雪下ろしは息子達に依頼して3回ビール6缶。頼りになるのは除雪機「颯馬号」孫の名前からとっています。

3年前に会社と自宅が水没し2年前に新築。5才と1才の孫らと7人で二世帯住宅暮らし。落雪が孫に当たったら大変と軒先にヒーターを敷設し、1Fが15Kw、2Fが

10Kwの契約です。この冬は1月の電気代が8万超え、融雪電力復活こそが私の悲願です。

私と地区長の村石さんは「飯山雪まつり」の実行委員長を嘗て務めておりコンセプトは「雪は宝物」です。今年は雪の事故で何人もお亡くなりになりました。飯山の中心街では家屋が雪の重みに耐えきれず倒壊しました。

雪がやみ晴れてくると外では孫の歓声が聞こえ雪遊びをしている姿を見ていると、やっぱり「雪は宝物」なのかもしれません。



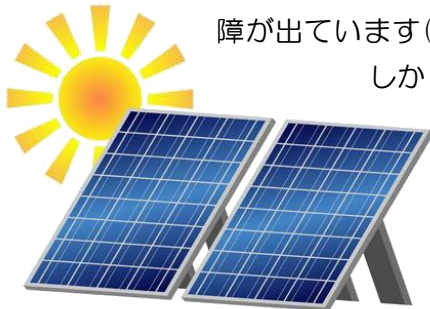
有事の際

須高地区 竹内 伸次
(株式会社 ミワ電機商会)

昨今、我が日本は【災害大国】と言われていて、地震や台風はもちろん、長野県では19号災害の様な水害もある。又、冬になると大雪も最近のニュースで目にする事が多い。地政学リスクで言えば【戦】。今年の漢字に選ばれるくらい【緊張】があり今後インフラ問題等心配はつきものだ。

という【くだり】から入ろうとしたが長くもたないで早速用件へ。【有事の際】に電気が使えないと困るということ。最近小さな太陽光パネルを【車載】して予備バッテリーへ充電を試みました。費用が多くなりますが、安全性の高さ、充放電サイクルの多さや冬にも能力が下がらない【リン酸鉄リチウム】を選びました。停車中はパネルから、走行中はメインバッテリーからリレーを使って走行充電できるシステムを構築。

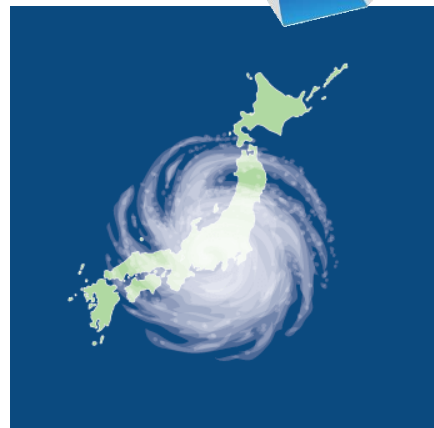
ソーラーコントロールやインバーター機器を使い、1Kwの設備にも対応。休日にはコーヒーを淹れて素敵な景色を見ながら有意義な時間を楽しんでいます。。という予定でしたが実際には【電動工具】のバッテリーを充電していることが多いのです。車載なのでパネルも場所を取り脚立を載せるスペースが無く仕事に支障が出ています(笑)



しかし、【何かの時】役立つのかもしれませんが今は車載ですが少しコンパクトな小規模太陽光発電を自宅に設置して高発電力になるよう増設していこうかと思えます

電気が容易に使えなく【未曾有】の世界が今後くるかも知れません。信じるか信じないかはあなた次第です！ 皆様如何ですか？

まあ1kwくらいで生き延びる事はなさそうですが【トイレ】くらいは流す事はできますね。



異例づくしの御開帳



須高地区 山崎 哲男 (株式会社 協立電機工事)

令和四年も残り少なくなってきました。今年を振り返るといつ終息するともわからない相変わらずのコロナ禍。緊急事態宣言が解除されたとはいえ慎重な行動が要求される中、開催すら危ぶまれた御開帳。本来なら昨年なのですが一年延期して行われました。

七年に一度という事で、ご利益にあやかりたく毎回参拝しているのですが、今回は、分散参拝のため本来であれば開催期間は一ヶ月ですが三ヶ月となりました。人数制限はもちろん、特殊な抗菌が施された柱、触るのは片手のみ等異例づくしでした。全国版のテレビでも善光寺を取り上げられることが多く、長野県民が誇れる善光寺の最大の祭事が無事開催された事は大変喜ばしく、その祭事に行けた事のありがたさは特別でした。

参道を歩いていると一角に

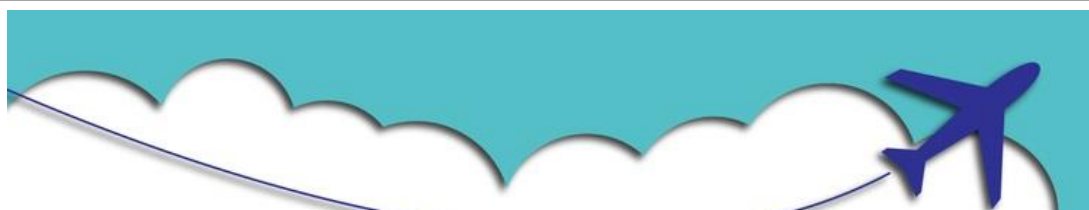
“念ずれば 花ひらく” という立札がありました。

「苦しいとき 母がいつも口にしていた このことばを わたしもいつのころからかとなえるようになった そうして そのたびわたしの花が ふしぎとひとつひとつひらいていった」

こんな時だからこそか、心に染みた言葉でした。

また御開帳のほかに、七年に一度の御柱祭も各地で行われたとニュースやメディアで取り上げられていました。コロナに負けないで伝統文化を継承して行ってほしい。七年後の御開帳と御柱祭が何の心配もなく開催されることを願っています。





長野西・東地区 研修会

～ 北海道への旅 ～

長野東地区 月岡 匠（東和電設株式会社）



平成 30 年に有志によって発足いたしました長野西・東地区研修会は、自粛につぐ自粛でなかなか開催することができなかったのですが、去る令和 4 年 11 月 11 日(金)～13 日(日)に 2 泊 3 日の日程で北海道へ行ってまいりました。

長野駅集合で松本空港へバスで向かい、空路で新千歳空港へ。お昼はジンギスカン食べ放題のサッポロビール園。夜は札幌市内でカニ料理を味わいました。2 日目は小樽の堺町通りで、北一硝子の工芸店やオルゴール堂を散策し、お昼は青塚食堂で 40cm 近いニシンを丸々 1 匹焼き魚にした定食をいただき、夜は登別温泉で宿泊。3 日目は朝から長野への帰路となりましたが、お昼は苫小牧市の海の駅ぷらっとみなと市場で海鮮丼をいただき、混雑した新千歳空港でお土産を買い、松本空港～長野駅解散、という行程でした。そんな旅行の中で印象的だったことを 3 つほど紹介したいと思います。

まず 1 つ目は、まだ長野県を発つ前の松本空港で、手荷物を預けて搭乗口集合まで 20 分ほどあったでしょうか。ほとんど待ち時間の無い中で空港併設の『城下町』という喫茶店に皆さんで入店して、そこで軽い宴会が始まり、冷蔵庫にあった瓶ビールと日本酒 1 合瓶を全て呑み干して、集合時間には寸分の遅れなく全員が辿り着くというなんと息つく暇もない状況でした。あの時の添乗員さんの焦った顔は忘れられません。ちなみに添乗員さんは今回の我々の研修旅行が、会社に入社して初めての仕事だったとお聞きしました。朝の 8 時半から宴会を始めるような危険な集団が初仕事だったとは、本当にスリリングな 2 泊 3 日だったと想像します。



2つ目は、今回の研修旅行の目的でもある、北海道日本ハムファイターズの新球場として北広島市に新設されているエスコンフィールドの見学。球場は外構工事を残してほぼ完成しているようで、令和5年3月には周辺施設を含めて北海道ボールパーク”Fビレッジ”として開業されるとのことでした。完成間近ではありましたが施設自体が竣工しておらず、駐車場も未整備のためさすがにエスコンフィールド内を見学とはいかず、外周道路を周回しながらバス内より見学しました。開業したら、もう一度訪れたい場所になりました。

3つ目は、登別温泉での夕食後に、シバオケ三平さんにて二次会を設けて歓談していた時のこと。近くで飲んでいた屈強な若者達と、東地区長が喫煙室で何やら話をしていました。『揉め事か?』と近づいてみると全くそんなことは無く、笑って歓談していました。話を聞くと、彼らは地元でホタテを養殖している漁師さんとのことでした。漁師さんとの会話で印象的だったのが、北海道の養殖ホタテは2~3年目で出荷するんだそうですが、地元漁師の方々は大きいホタテはほとんど食べないそうです。そのかわりに間引きした1年貝(1年目の小さい貝)が食卓に並ぶのだとか。ただし、味は一年目が抜群だそうです。そんなこと全く知らなかったのが、正直かなりの驚きでした。

今回の第1回目の長野西・東地区研修会は(株)旭電気商会の竹内さんが、お忙しい中で東武トップツアーズと共に計画から行程管理に至るまで、様々なお気遣いをいただきまして大変楽しい旅行になりました。本当にありがとうございました。私も微力ながら会計担当として携わることで、色々と勉強になりました。

研修旅行の開催の是非に関しましては、色んなご意見があるかと思いますが、今後も工夫と対策を考慮しながら工業組合の有志の集まりとして、続けていけたらと思います。今回残念ながら欠席された方々も、次回研修旅行が催された際には是非ご一緒できれば幸いです。



特集

引込および内線工事

技能オリンピック

出場選手



五十嵐和敏さん
(有限会社 宮崎電気)



班長：小山正明さん
(株式会社 峰電舎)



丸山慎一さん
(Babe Beet 株式会社)
※ 旧 国際電設工業(株)

第37回 長野県大会 準優勝

2022年9月15日(木)

中部電力PG株式会社 吉田訓練所

第36回 連合会大会 第3位

2022年11月10日(木)

中部電力PG株式会社 人材開発センター (愛知県日進市)

実技賞：第3位

安全賞：第3位

学科賞：第1位 五十嵐和敏さん

引込および内線工事技能オリンピックを終えて

中部電力パワーグリッド株式会社

篠ノ井営業所配電課 副長 畠山 拓也

初春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、2022年9月15日に第37回引込および内線工事技能オリンピック長野県大会、2022年11月10日に第36回引込および内線工事技能オリンピック連合会大会が開催されました。長野電気引込工事センターからは、株式会社峰電舎の小山正明選手を責任者に、Babe Beet 株式会社の丸山慎一選手、有限会社宮崎電気の五十嵐和敏選手の3名が出場し、4カ月間におよぶ訓練の成果を十二分に発揮し、それぞれ成長した姿を見せていただきました。

思い返せば選手たちは、2022年7月11日の開講式の時には、長野電気引込工事センターの役員の方々を始め、初対面の中部電力パワーグリッドの社員を前に、計り知れない不安を抱いていたでしょう。我々指導者側も技能オリンピック大会に向けた指導の経験がなく、選手の皆さんをどのように指導していけばよいか不安を感じていました。大会に向けた訓練では、指導者と選手間で意見交換を繰り返し行い、チームでの訓練、個人によるスキルアップ訓練を重ねてきたことで、指導者、選手ともに成長を感じることができました。

大会当日は、コロナ禍のため会場での観戦はかなわなかったですが、映像を通して、一人ひとりの活躍はもとより、数カ月前にはじめて出会った3名がお互いに声をかけあい、一つのチームとして団結した姿にとっても感動しました。選手の皆さんの努力により、長野県大会においては総合2位、安全優秀賞の受賞、連合会大会においては総合3位と立派な成績を収めることができました。選手の皆さんには、電気工事のプロとして自信をもってこれからの更埴地区、長野電気引込工事センターを牽引していただくことを願っております。

最後に、貴重な戦力を選出いただきました店主の皆さま、大会に向けて準備、指導にご尽力いただきました長野電気引込工事センター関係者の皆さまに心からお礼申し上げますとともに、指導者として至らぬ点が多々あったことをお詫び申し上げます。

今大会で培った組織力と技術力が、今後の地域の発展につながることをご祈念申し上げます、結びとさせていただきます。



信賴

と





絆



熱き三戦士の4ヶ月



更埴地区 地区長
蟹澤 佳治

去る11月10日に第36回引込及び内線工事技能オリンピック連合大会が開催された。4ヶ月選手と中部電力さんと力を合わせ連合大会への出場をめざし訓練を行い、県大会では第2位の成績により連合大会出場をしました。県大会で2位入賞チームが優勝するな

んてジnkスもあるみたいだが、3位入賞は素晴らしい結果であると思う。

当然選手の3名はそういったプレッシャーを感じながら大会と向き合っていたと思う。大会当日は、工具等の搬入や配置が中部電力さんの方々が行ってバラバラに置かれていて最初からイレギュラーが発生し戸惑いもあったが、3人で修正し競技に入った。時間が限られている中、3人は班長を中心に作業手順を変え訓練の時とは違う分担であったが時間内に完了報告までできた。私の目線で見ると出来栄は12チームの中で1番良かったように思えた。また、安全面でもTBM-KYを作業着手時ごとに行い適切な指示も出来ていて1位ではないかと思っていた。

学科試験も終わり休憩時間（審査時間）の間、他県のセンター役員の方々とお話をする時間があり「長野チーム優勝じゃない」なんてことも言っていた他県のセンターもありました。ここまで来たら優勝したいと思うのが当たり前です。

結果は総合、技術、安全で3位入賞をはたし、学科では五十嵐選手が1位に入賞した。表彰式の後、優勝した長野県飯田チームの選手たちともお互いにたたえ合いました。長野県で2チーム入賞は素晴らしい結果となったと思う。選手3人も悔しい気持ちもあったと思うがやりきったすがすがしい顔をしていた。

この4ヶ月、長いようで大会が終わってしまえば短く名残惜しい気持ちになった。これで長野に帰ったら本当に終わりだとさみしさもこみ上げてきた。選手3人、選手を出してくれた会社さん中部電力さんには本当に感謝しかありません。私も選手の選出から約半年でしたが、関係者の皆さんに協力いただき良い経験をさせていただきました。新型コロナウイルスにより参観者も制限され地区、支部も盛り上がりはさみしい大会ではあったが、地区としてもやれるだけのサポートは出来たと思う。選手3人も大会に参加しなければ経験できない時間を過ごし色々な事を見て聞いて感じてくれたと思う。3人のこれからの人生にも必ず役立つ4ヶ月であったと思う。

最後になりますが中部電力さん関係各社の皆様には様々な激励、サポートを頂きお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

選手の
MESSAGE

生涯一度きりの体験

株式会社 峰電舎 小山 正明

技能オリンピック大会の出場選手として出る事になり、正直初めは嫌だなあと感じていました。会社の代表として内気で人見知りの自分が上手く出来るのか不安でしたが、仕事の一環と踏ん切りをつけ、電気工事士としてスキルアップ出来るチャンスと思い挑戦しました。開講式で丸山さんと五十嵐さんと会いお二人共自分より年上で丸山さんとは20歳も年齢が離れていました。日頃の仕事で引込工事をしている五十嵐さん、内線の経験豊富な丸山さんと、この時自分の中でポジションが決まりました。

班長になると心構えをし訓練初日を迎えると、役割がスムーズに決まり各自のやるべき事が見えてきました。班長としてお二人への指示、監視、作業の進捗状況の確認、時間管理等改めて大変なポジションだと認識し練習を始めました。選手3人の中で一番年下なので指示する際に敬語になり、変な言い方、言葉に詰まってしまう事が何度もありました。自分にとってこれが一番苦労した点でありました。年の差は関係なく、お互いに意見しあい意思疎通を図る事が重要だと感じました。大会当日迄には、講師の方の指導とお二人の協力のもと、大変良くなり指示等大きな声で簡潔に出来る様になりました。

県大会は緊張しましたが練習通りに行えて、大きな失敗も無く準優勝という結果を出せました。連合大会出場という名誉を頂き恥しない結果を残そうと気を引き締めてまた練習。県大会とはルールが違うのでより一層、時間管理が大変でした。選手3人で、より細かな部分に気を配りながら訓練し、より高い完成度で完成し時間内に余裕で終わらせる事が出来ていたので大丈夫と思っていました。しかし連合大会では、始まりが練習通り行かず、時間に追われ細かなミスをしてしまいました。それでもめげずに最後までやり遂げ、時間内に完成する事が出来ました。結果は3位と思っていたよりも良くてビックリしました。自分では最高のパフォーマンスを発揮できたと思いますし楽しくやれて満足です。

人生一度きりの大会はこれにて閉幕ですが、ここまで指導して下さった中部電力の方を始め役員関係者の皆様、そして最後まで一緒にやり抜いて下さった丸山さんと五十嵐さん、約4ヶ月間本当にありがとうございました。この経験を今後共活かして行きたいと思います。

最後に世間はコロナの脅威の中にいます。その中でもこうして技能オリンピックが開催されたことは嬉しく思います。今後共困難はあると思いますが、続いていってくれたら良いなと思います。



選手の
MESSAGE

一生の宝物

有限会社 宮崎電気 五十嵐 和敏

最初、「技能オリンピックがあるから出てみないか？」と言われ、無理だと思った自分はなんとか断ろうとしましたが、結局引き受ける事にしました。

開校式で小山ちゃんと丸さんを見た時も、どこかで見たことあるなーくらいで特に面識ありませんでした。そんな不安の中、選手3人でゼロからのスタートでしたが、多くの関係者の方々のご指導とサポートがあり、県大会2位、連合大会3位という結果になりました。

ある方が開校式で「最初は嫌かもしれないけど、やっていくうちにアツくなるよ！」と言ってくれたことを今でも覚えています。大会が終わって少し寂しい気もしますが、二度と出来ない体験を小山ちゃんや丸さん、色々な方と出来たことを嬉しく思います。



株式会社 Babe Beet 丸山 慎一
(旧：国際電設工業株式会社)

まずはご指導、練習の準備、片付けをして下さった、地区役員の皆様、中部電力PGの皆様、選手のコヤマちゃん、いがちゃん、現場のサポート、応援をしてくれた会社の仲間たち、そして私を選出して下さった、株式会社Babe Beet 吉田社長、心より感謝申し上げます。この経験と出会いは、一生の宝物となりました。安全・確実・丁寧を現場で生かしたいと思います。ありがとうございました。



店主のMessage

選手選出 苦悩が歓喜に変わるまで

株式会社 Babe Beet 代表取締役 吉田 清
(旧国際電設工業)

新春の候 皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、昨年行われました、技能オリンピックの感想等寄稿いたします。蟹澤地区長より、技能オリンピックの開催にあたり選手を選出してほしいと、5月ごろでしょうか…電話をいただきました。わたしは、かなり悩みました。聞けば週2日8時間程の練習をするということで、やはり現場の事を考えると…。

しかし、弊社は今まで一度も出場した事がなく、技能オリンピックもこういったものか全く知らずにいましたので、会社がよい方向へ進めればと思い出場する事としました。(本心は、出来れば何か理由をつけてお断りしたいのでした。) 弊社出場選手は51歳です。見てみるとやはり練習はきつそうです。また、仕事量も落とさずでしたから、かなりハードだったと思います。実際、他社様の選手との練習風景も見させてもらいましたが、基本に忠実に、スピード、技術も求められていて、「あ！これが技能オリンピックなのか！」と感心すると同時に、普段の仕事を見直す機会となりました。

ここでまた、本心を言うと、「そうは言っても、連合会大会までは行かないでほしいかなあ」と思っただけでしたが、大会が始まる頃には、「どうせ出場するなら、優勝すればいいんじゃない？」と思えるようになりました。不思議なものですね…。

結果は準優勝ということで、優勝には届きませんでした。連合会大会出場という事で大変嬉しかったです。(これは本音です。) その後も練習は続き、選手の皆さんの頑張り、役員の方々のおかげで3位という好成績！！その知らせを受けた社内は大いに盛り上がりました。(これだけでも、出場して良かった…と)。この経験は、きっとこの会社のこれからのきっと役立つでしょう(特に、若いスタッフに)そして、私たちにも出来る！と新しい挑戦が出来るような気がしています。

選手の皆さま、中部電力様、役員の方々の皆さま、大変お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。



店主のMessage

経験そして成長

株式会社峰電舎 代表取締役 峯村 孝則

第37回引込および内線工事技能オリンピック大会への出場選手として、弊社から小山正明を送り出しました。中部電力様、並びに講師の皆様、運営に携わりました関係各位様ありがとうございました。そして、各選手の皆様、猛暑の中、訓練大変だったと聞いております。お疲れ様でした。最初は、地区長より選手の選出の電話を頂いたときは「うーん」誰を選出しようか考えましたが、若い従業員達で話をしてもらい決定し、小山に決定しました。

訓練期間中は、会社の仕事と訓練の両立で本人にも負担をかけた部分もありましたが、日を追うごとに選手自身が成長して目標をもって訓練している姿に陰ながら応援していました。長野県大会では、見事準優勝と素晴らしい結果となりました。連合大会では、第三位と健闘素晴らしい結果を残したと思います。普段とは違う緊張感の中、選手の中で一番年下の小山が班長という重要な位置で先輩選手を指揮、的確な命令をしたことは、今後の電気工事に役立ったのではないかと思います。今回の経験でだいぶ自信がついて一つ成長できたと思います。ありがとうございました。

最後に、選手の皆様と今大会に携わった関係各位の皆様大変お疲れ様でした。



有限会社 宮崎電気
代表取締役 宮崎 弘章

本年度、技能オリンピックに選手を参加するにあたって電気引込工事センターの役員の皆様、そして中部電力管内各関係者の皆さまには多大なるご尽力、ご指導を頂いたことに対して御礼申し上げます。そして、更埴地区の役員、同地区の皆様にも貴重な時間と労力を頂いたことに改めて感謝いたします。出場した選手も本当に多くの皆様の応援と期待を背に一生懸命向き合って素晴らしい成果を挙げていただいたことに店主としても誇らしく思うことが出来ました。

改めて振り返ると、昨今各会社共に若手の社員がなかなか定着しない中で、普段当たり前の様にこなしている電気工事や安全に対する技術を評価することは、社員のモチベーションを上げるツールとしても良い例ではないかと感じました。

コロナ禍によってこれまで通りの設営、準備が出来ない中でも選手のモチベーションを保つにはいままで以上の努力が必要だったと思いますが、改めて携わっていただいた関係者の皆様に心よりの感謝を致します。



1月30日 総務委員会 長野ターミナル会館 事務所に於いて



編集後記

令和5年を迎えました。今年の干支はうさぎ！ピョンピョン跳ねるうさぎにあやかって「飛躍の一年」にしたいものです。

さて、昨年は今頃は大雪の話題が多く、長野市の方でも「除雪が大変で参った。」というお話があちらこちらで聞かれました。が、今年は昨年と比べると雪が少なく、除雪のないお正月を過ごすことが出来ました。もっとも冬は雪が多いと景気が良くなる方もいらっしゃると思いますので、どちらが良いかはわかりませんが？

支部通信第83号を発刊いたします。大変お忙しい中、御寄稿頂きました皆様、どうもありがとうございました。

総務委員 永井 竹彦

編集委員

担当副支部長	伊東 敬晃	総務委員	久保田雅史
総務委員長	湯本 栄二	総務委員	永井 竹彦
総務副委員長	蟹澤 佳治		

編集：長野県電気工事業工業組合長野支部事務局 倉嶋
印刷：有限会社 丸山印刷 長野市中御所1丁目26-12-4

もっと便利で快適な暮らしに

アイセグ

AISEG2

お客様にご満足いただける
より安心安全な環境づくりをお手伝いします
本年もよろしくお願い申し上げます



ながの電材会

大沢電機株式会社
昭和電機産業株式会社
株式会社デンセン
株式会社ニッセー電機

(五十音順)

